

★研究協力のお願い★

炎症性腸疾患による生活上の「経験・気持ち」を教えてください

【研究の目的】

炎症性腸疾患（IBD）を抱えながら生活や周りの人との関係の中で、理解してもらえない／大変だったこと等のさまざまな経験をうかがい、社会にどんなサポートやどんな理解があると生活しやすくなるのかを考えるために実施するものです。

**研究結果は、IBDを抱える患者さんが経験する体験を
社会にさらに理解してもらうように用いていきます。**

研究の内容

① あなたのご経験について、インタビューさせていただきます

インタビューは「2000年代頃以降に、10～20代でIBDを抱えるようになった方（患者さんご本人）で、インタビュー時点では体調が落ち込んでいる方」にご協力ををお願いしたいと考えています。

インタビューの時間は、60分程度の時間です、あなたの体験を教えてください。

? ご本人から主に教えていただきたいこと ?

- ✓ 病気を発症された当時の生活状況とその後の経過
- ✓ 理解してもらえない感じていた時期の様子、周囲からの期待、不公平さや我慢していたこと
- ✓ その当時、支えになったこと、自分なりの周囲への抵抗や工夫していたこと
- ✓ 現在の状況から、病気抱えながら生活してきた自身や周囲（社会）への想い

など

② お好きな場所・方法でお話をうかがわせていただきます

インタビューは、対面やオンライン（Zoom等）で実施できます。あなたが希望する方法を選んでいただけます。対面の場合には、あなたが希望される場所におうかがいいたします。オンライン（Zoom等）の場合は、こちらでURLなどの設定を行います。

研究協力について

あなたの安全・安心を第一に考えます

- 研究に協力するかどうかは、あなたが自由に決めることができます
- 研究に協力することを断っても、あなた困ることは何も生じません
- 一度研究に協力することを決めて、途中でやめることもできます
- あなたの名前などの秘密は、絶対に守られます

本研究にご協力いただける方、前向きにご検討いただける方などは、下記までご連絡ください。お電話、メール等でご連絡ください。

本研究のお問い合わせ先

東北福祉大学 狩野俊介（かのう しゅんすけ）

宮城県仙台市青葉区国見1-8-1 Tel : 022-301-1129 Mail: s-kano@tfu.ac.jp